

## 農林水産業振興計画案に対する意見と計画への反映等について

農業振興審議会(9/8)、森林審議会(9/1)、水産業振興審議会(8/30)

No.	頁	審議会意見及び検討事項等	対応方針	備考
1	18	<p>ふくしまイレブンの取扱いについて、表に地鶏が掲載されておらず、10品目になっている。</p> <p>また、本文にイレブンの記載がないが、集中してふくしまイレブンを振興していくのではなく、他の品目も取り入れていくという意味か。</p> <p>※ふくしまイレブンだけに力を入れていくということであれば、特に記載はいらないと思う。</p>	<p>「ふくしまイレブン」は震災・原子力災害からの復興に向け、本県の主力品種や風評の影響が大きな品目等に注力して、風評払拭・ブランド力の強化を目指すことを目的に取り組んできたところです。</p> <p>ふくしまイレブンの品目については、どれも本県の農林水産物の中で重要な位置づけであることに変わりはありませんが、生産から流通・消費に至る情勢の変化や震災を機に新たに導入が進んだ品目等もあり、多角的に生産振興や販売対策を講じる必要があることから、品目ごとの取組として個別計画等で引き続き振興してまいります。</p>	
2	18	<p>農林水産物のシェアについて</p> <p>おたねにんじんは生産量が少ないものの、全国シェアは高い。漢方の国産化という流れもあるので、シェアを他に奪われないような戦略が必要。</p> <p>表にある品目以外でも、シェアを上げていく取組が必要。</p>	<p>ご意見を踏まえ、種子の生産・供給や量販店・飲食店等での PR など、現在の支援などを今後も継続し、シェアの維持・拡大を支援してまいります。</p>	
3	27	<p>(新型コロナウイルス感染症による影響について) 流通において、仲買から「東京方面に送りたいが、魚価が上がらない。」という声もあり、魚価が下がることが懸念される。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う水産物の消費量減少等の影響については、引き続き注視してまいります。</p> <p>県産水産物の価格安定に向けては、これまで取り組んできた風評対策等の取組等もコロナ対策として有効と考えられることから、魅力を発信するためのイベントや大手量販店での常設棚の設置などに引き続き取り組んでまいります。</p>	
4	31	<p>基本目標の「誇れる」について以下の内容を盛り込んではいかがでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全安心な食料を安定的に供給する役割</li> <li>・多面的機能の発揮や環境へ配慮した農業などを通じて、農村の維持・活性化に貢献する</li> </ul>	<p>ご意見の趣旨を「誇れる」の項に追記しました。</p> <p>→ではなく、<u>生活に不可欠な食料の安定供給や農山漁村の保全など、～</u></p>	

5	47～ 57～	人・農地プランなど関連施策の中で、中小規模農家や半農半 X の経営形態も農地利用に位置付けられていることから、計画にも書き込むことで分かりやすくなるのではないかと。  条件不利地(中山間地域等を想定と思われる)の集積をどう進めていくのかについても、計画に書き込むかどうかは別として、進めていく必要がある。	ご意見を踏まえ、下記のとおり追記しました。 ・第 2 節の1「農業担い手の確保・育成」に半農半 X・二地域居住の促進等 ・第 2 節の4「経営の安定・強化」に中小規模農家への支援 なお、条件不利地における集積等の進め方については、引き続き関係機関・団体等と共に協議・検討させていただきます。	
6	47～	担い手の項目が一番先に位置付けられているということで、重要な課題であると思われるが、「多様な担い手」をどのように計画に込めているのか。	ご意見を踏まえ、下記のとおり追記しました。 ・第 2 節の1「農業担い手の確保・育成」に半農半 X・二地域居住の促進等 ・第 2 節の4「経営の安定・強化」に中小規模農家への支援	
7	47～	本県は U ターンによる新規就農が少ないので、農家の後継者確保という面で家族経営の育成を位置づけてはどうか。	ご意見のとおり、農家子弟の就農は重要であることから、P44 の 23 行目で、親子間の経営継承について記載しております。	
8	47～	企業の農業参入について、参入するのが県外の大企業では、所得の分配の面でも県外へ流出してしまうので、GRP を増やす視点からも県内企業の育成を重点的に進めていく方がよい。	これまで、県外だけでなく、県内企業についても、参入に向けた取組を推進してまいりましたが、ご意見を踏まえ引き続き安定的な担い手確保・育成に努めてまいります。	
9	49	指標の「認定農業者数」と「農地所有適格化法人等数」について、どちらも増加する目標だが、認定農業者から法人へ移行したら認定農業者数は減少するのではないかと。	法人化を進める一方で、地域の中心的な担い手としての認定農業者は、更に増やしていく必要があると考えております。	
10	49	農業は、「新規就農者の定着割合」の指標を挙げている。林業も目標を設定した方がよい。	林業の離職率は、3 年以内で約5割となっており、課題解決に向けた取組が必要であることから、就業から3年後の定着率に関する指標を新たに設定し、進行管理を行ってまいります。	
11	50	林業の担い手の確保・育成というところで、(2)次代を担う新規林業就業者の確保・育成の部分で、前後の農業とか漁業については、農業は幼少期からステージに合わせて体験し就農への意識醸成とか、漁業は小中学生を対象とした漁業体験学習、将来の就業へ繋がる取組というふうに、具体的に幼少期からの職業としてアピールすることが書かれているが、林業に関しては、それがなくて高校生以上からって	ご意見を踏まえ以下のとおり追加します。 ○林業労働力確保支援センターと・・・取り組みます。 <u>また、小中学生を対象とした森林環境学習などを通して森林・林業への理解を深め、将来の就業へつながるような意識醸成を図る取組を進めます。</u>	

		う感じの記述しかないので、具体的に例えば学校教育との連携とか、そのような記述があった方が、林業というものをもっと認識し、林業の良さを広められ、これから林業を担う世代を育てていくという点でいいと思う。		
12	その他	小学校でやっている森林環境学習や、森林づくりで植樹しているが、どちらかというと森林環境について知るとか、森林の付加価値を知る機会になると思うが、それが林業という職業を知ることに対して直結しているのかというと、なかなかそこは難しいと思う。林業の部分だと、例えば植樹してそれがお金に換わるまでには、長いスパンがあるわけで、そこをイメージしづらいと思うので、例えば、林業アカデミーのユース版とか、キッズニアのように子供版で体験できるものがあった、トータルで林業は時間がかかるけど、こういうふうに儲ける職業だということが伝わるように、いろいろやっていってもいいと思う。	関係団体等と連携して、子どもたちが森林に親しみながら職業としての林業に理解を深め、将来の就業へつながるような取組を検討してまいります。	
13	51	沿岸漁業の担い手確保に関して、漁家子弟以外からの募集や、希望者への支援を再開するタイミングはどのような予定か。	現段階の沿岸漁業においては、漁家子弟を中心に後継者を確保し、水揚げ拡大を進めていくことができると考えております。一方で、雇用の担い手確保についても、国の事業活用や普及指導員の活動を通じて取り組んでまいります。	
14	53	雇用人材の安定確保の項目で、「労力を受け入れやすく」の前に「雇用条件の改善や福利厚生の実施」を追加できないか。	ご意見のとおり、雇用人材の安定確保に向けては、安心して働くことのできる職場環境の整備が重要であることから、農業者の労務管理能力の向上を図るために、労務管理研修等を通じて支援してまいります。	
15	65	一般の方にとって水産物は、モニタリング検査に触れる機会が少ない。農産物のように自分で持って行って検査ができるなど、水産物も検査の工夫で一般消費者へ安全性をPRできるのではないか。	水産物の放射性物質検査や検査結果の公表については、引き続き取り組むこととしております。御意見を参考に、消費者の皆様等への分かりやすい情報発信等について取り組んでまいります。	
16	66	モニタリング検査で安全性が担保され、さらに水産エコラベルの認証を受けている水産物として、別の表示の活用によってPRしてはどうか。	モニタリング結果など、安全性の発信が最も大切であると考えております。県産水産物の魅力発信に当たっては、ご意見を参考に、水産エコラベルを含め様々な媒体での発信等を検討してまいります。	

17	67～ 69～	「もうかる農業」を考える上では、ブランド戦略や販路拡大の部分が大きく関わると思われるが、県としては 9 年後に何をブランド化していくのか、県の代表選手を何にするのかという部分が見えにくい。 各地方の取組・指標についても、この地域では、この品目を産地化していくという目標を入れてほしい。	品目ごと、地域ごとの詳細な取組や目標の設定については、個別計画・プロジェクト等に定めることとしております。個別計画も含め、皆様に分かりやすいよう周知してまいります。 なお、計画の趣旨(P.5)、関連する 1 主な計画等(P.126)に、個別計画等に位置付ける旨などを追記しております。	
18	67	ブランディングの背景／課題のところ「認知度の面において全国トップレベルのブランド力を有する」とあるが、残念ながら西に行けば行くほど福島の農産物は有名ではないので、ここを言い切ってしまうてよいのか疑問。文面の修正を検討願う。	ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 ・～品質の高さや供給力、認知度の面において全国 <u>トップレベルのブランド力を有する</u> ～ →・～品質の高さ、 <u>供給力</u> や認知度の面において、全国 <u>有数のブランド力を有する</u> ～	
19	67	県産農林水産物の魅力発信について、コロナ禍ということもあって、もう地元に戻れないという首都圏の方々に向けての情報発信ということでぜひアンテナショップを追加して欲しいということと、コロナ禍で旅行スタイルも変化してきているので、道の駅も検討して欲しい。	ご意見を踏まえ、同項目へ「 <u>県アンテナショップ</u> 」について追記いたします。 道の駅につきましては、量販店や飲食店等の「等」に含むと考えており、ご意見を今後の取組の参考とさせていただきます。また、類似の取組として、P.69 地産地消の項において、直売所での販売キャンペーン等について記載しているところです。	
20	74	水田フル活用に関して、「等」に含まれている飼料用米や加工用米の取組に加え、量はまだ少ないが「輸出用米」も明記してはどうか。	ご意見を踏まえ、下記のとおり追記します。 ～ <u>稲WCS(稲発酵粗飼料)、新市場開拓用米(輸出用を含む)</u> 等非主食用米について、～	
21	74	みどりの食料システム戦略に盛り込まれている、有機農業への推進、耕畜連携、循環型の構築を本県でも進めてほしい。	ご意見のとおり、有機農業、耕畜連携等の取組は重要であることから、P.81 の「 <u>環境と共生する農林水産業</u> 」の項に記載しております。	
22	74	(2)園芸作物について、県で既に策定している「 <u>園芸振興プロジェクト</u> 」で、品目は限られるが大規模園芸団地の育成を掲げていることから、それを計画に記載してはどうか。	ご意見を踏まえ、下記のとおり追記します。 → <u>きゅうり、トマト、アスパラガス等の主要品目について、法人や生産組織等による園芸生産拠点の育成を支援します。</u>	
23	74～	(3)畜産物の中で、肉用牛のゲノミック評価の取組について記載があるが、酪農の部門でも取り組んでいただきたい。	酪農におけるゲノミック評価の導入に当たっては、農家が飼養する牛群個々の泌乳データの把握が重要であり、乳牛群能力検定事業(牛群検定)の実施率を全国平均まで引き上げる必要があります。 その上で、個体の遺伝情報(SNP データ)が必要になりますので、ま	

			ずは、本県乳牛群の改良の進展に向けて、農家における牛群検定の普及を生産者団体とともに進めてまいります。	
24	86 ～	保全管理の支援とは具体的にどのようなものか	中山間直接支払や多面的機能支払等の制度を通じた、水路の泥上げや農道の草刈り・路面維持等の活動への支援です。	
25	86 ～	人・農地プランに基づき担い手へ集積を図っても、遊休農地の減少にはつながらないのではないか 山間地区は、人・農地プラン作成に至っていないところも多く、担い手への集積は難しいことから、再度検討してはどうか	ご意見のとおり、人・農地プランの実質化に向けた取組の拡大は、コロナ禍もあり困難な状況にあります。 一方で、担い手の減少が加速する中、中山間地域のみならず、農地利用を担う経営体を決めていくことは、地域の主体となる経営体や組織の育成と併せて必要であると考えております。	
26	88	遊休農地の指標について、現況値が記載されていない 令和2年度の数値が公表されているので、確認してほしい	遊休農地の指標については、計画期間中の解消面積の「累計」という扱いのため、現況値を記載しておりませんでした。 ご意見を踏まえ、参考値として令和2年度を取組面積(430ha)を記載しました。	
27	その他	資料1の取扱いについて。 計画にはなじまないとして整理された意見についても、今後、取組状況等を確認していかなければならないものも多々あると思われるので、その辺りの情報共有について検討をお願いしたい。	個別計画に位置付ける施策については、各々の進行管理の中で検証してまいります。 全体的な情報共有につきましては、今後検討してまいります。	
28	その他	計画のどこかに「みどりの食料システム戦略」を記載していただきたい。	ご意見を踏まえ、P.28 にコラムとして記載しました。	
29	概要版 10	企業参入の推進に関して、持続可能性について疑問がある。少なくとも概要版への記載は必要ないのではないか。	御指摘のとおり、企業撤退のリスクは取組を進める上で留意しなければならない点であり、今後の取組の参考とさせていただきます。	